

新学期が始まり、キャンパスを彩っていたフレッシュな新入生も大分落ち着いてきたことと思います。今回は JR 総武線終着・千葉駅より 1 つ東京寄りの西千葉駅前にある千葉大学をご紹介します。

### 【千葉大学及び工学部の沿革】

千葉大学は、わが国の多くの新制国立大学と同じく、終戦後の昭和 24 年(1949)に設立されました。その母体は当時、千葉県内にあった 6 つの高等教育機関でした。古い歴史を有する現在の教育学部、医学部、薬学部、園芸学部は約 100 年以上前に設立されました。工学部の前身は 1921 年に創設された東京高等工藝学校です。3 年後には工学部も 100 周年を迎えることとなります。「東京」の名称が示す通り、学校設立時は東京・田町に学舎がありました(現在、田町駅前の東京工業大学附属科学高等学校敷地内に設立記念碑があります)。当時の学科等には、工芸図案科、同科附属工芸彫刻部、金属工芸科、金属製品分科、同精密機械分科、木材工芸科、印刷工芸科の 7 つの科・部・分科がありました。現在の機械工学コースは設立当初からの歴史を引き続けていることとなります。

設立当時の学舎は、第二次太平洋戦争末期の激しい空襲で消失してしまいました。戦後、田町での再建を諦め、当時、千葉県松戸市にあった陸軍工兵学校の跡地に移動し授業を再開しました。その後、昭和 24 年の新制大学発足時に千葉大学を構成する 1 学部(設立時は工芸学部)として再出発しました。大学発足時には時代の変化に合わせて、学科等は、工業意匠学科、建築学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科(工業化学専攻、印刷学専攻、写真映画学専攻)応用物理学教室に再編されました。



図 1 東京高等工藝学校正門(田町・上段)  
千葉大学工芸学部正門(松戸・中段)  
千葉大学正門(西千葉・下段)

### 【千葉大学の現在】

千葉大学設立時、工学部の学舎は前述の通り松戸にありましたが、昭和 38 年に東京大学第二工学部跡地であった現在の地、西千葉・稲毛区弥生町に教育学部、理学部、薬学部などと共にキャンパスを移動しました。西千葉は東京・秋葉原駅から JR 総武線各駅停車で約 50 分です。工学部は西千葉駅から徒歩 2 分の南門を入れて直ぐの、大変アクセスが良いところにあります。ただし普遍教育の授業が主体の新入生は、奥の方にある講義室まで少し時間が必要となります。またキャンパス端の野球場まで行くには 15 分以上掛かります。

千葉大学は現在、10 学部、入学定員 2,317 名の総合大学となっています。このうち工学部、理学部、4 つの文系学部、大学本部等が西千葉キャンパスに、医学、薬学、看護学が旧市街地の亥鼻地区に、園芸学部は JR 松戸駅前にあります。そのほか大規模農場実習施設・環境フィールドセンターなどが柏市・TX 柏の葉キャンパス駅前に設置されています。

海外から学部・大学院への外国人学生らは、59 ヶ国から約 1,600 人おられます。これら留学生を支援する国際教育センターがありますが、日本人学生も日常的に英語でコミュニケーションするための「イングリッシュ・ハウス」([http:// www.chiba-u.ac.jp/Englishhouse/](http://www.chiba-u.ac.jp/Englishhouse/))が最近、西千葉キャンパス内に設置され、国際化時代を生き抜くための学生を日々の活動から応援しています。国際教育センターのほかにも 20 近くの研究センターが設置されているものの、新設・再編・廃止が激しく、学内者でもよく分かりません。

大学附属図書館 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>) の運営形態も大きく変わりました。従来の「探す・調べる」だけではなく、「学ぶ」や「教える」の機能（アカデミック・リンクセンター）が新たに加わっています。中でもほぼ週 2 回、昼休みに図書館のオープンデッキで開催される「あかりんアワー」は通算 360 回を超えました。ここでは、いろいろな研究分野に興味を持てる学生や研究者を育てるべく、学部の枠組みを取り払い、教員自身が関係する先端分野を優しく丁寧に紹介し、研究の楽しさを語ります。また、開館時間も 22:30 まで延長され、多数の学生、研究者に歓迎されています。



図 2 イングリッシュ・ハウス  
(英語での交流の場)



図 3 2012 年度のグッドデザイン賞を獲得した  
改修後の附属図書館, アカデミック・リンク  
センター

【工学部及び機械工学科の現在とこれから】

工学部の入学定員は 620 名で、H29 年度から総合工学科として一括募集しています。また工学系の大学院定員は前期課程で 401 名、後期課程で 63 名です。機械工学コースは学部が概ね 74 名で、3 年次に 10 名前後の編入生を受け入れています。また大学院・前期課程は 62 名ほど、後期課程は 6 名程度が毎年入学しています。

大学発足後の機械工学科は 6 講座(研究室)体制で始動しましたが、昭和 27 年には工業短期大学部内に機械系研究室が、また高度成長期に合わせて昭和 48 年に機械工学第二学科が増設されました。その後、幾度かの学科再編に合わせて教員や研究室の異動・移動があり、現在は専任教員 23 人が機械系の教育・研究に携わっています。最近では伝統的な「4 力」研究室に加え、時代の要請に沿ったロボット、AI 関連の研究も盛んに行われています。

通常の授業に加え、自動車や機械製作に興味を持った学部生は、全国の大学でも盛んな「学生フォーミュラ・プロジェクト」や「ロボット・サークル」などにも参加しています。

機械実習工場は 2 年ほど前に新設された総合研究棟に移動し、旋盤やフライス盤などの工作機械類の配置がかなりスッキリしました。またワイヤ放電加工機やマシニングセンターなどは、別建物の創造工学センターにまとめられました。製図の授業での CAD システムと連動して使用されています。余談ですが、千葉大学には文学部、教育学部、薬学部、看護学部など女子学生の比率が高い学部があるため、総合大学としては女子学生が多数在籍しています。従来、女子学生が少なかった機械工学科も最近では増加傾向です。彼女らの大学院進学率も高く、プロ意識を持って実社会に巣立っております。

3 年後に工学部創立 100 周年を迎えるにあたり、西千葉・南門を入ったところにある工学同窓会の「松韻会館」が 2 年前にリニューアルしました。松韻会館では、千葉大学全体のインフォメーションセンター的な役割も担っています。千葉大学にお越しの際は一度お立ち寄り下さい。

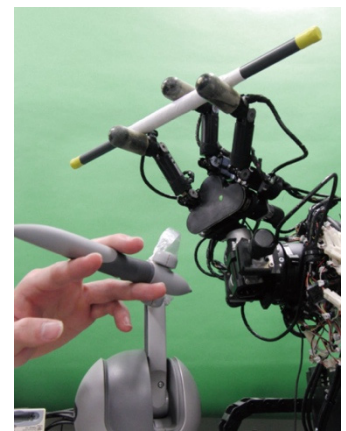


図 4 ロボットハンド



図 5 創造工学センター



図 6 工学同窓会館(松韻会館)・雪の日の夜景

関東学生会 2018 年度会員校会開催報告

関東支部学生会担当幹事

小林健一（明治大学），山本義暢（山梨大学）

5月12日(土)13時より、東京都信濃町の日本機械学会会議室において、2018年度関東学生会会員校会を開催しました。関東学生会を構成する44校の会員校から、17名の役員(教員)、46名の運営委員(学生)、2名の関東支部役員が出席しました。

会員校会では、支部学生会担当幹事より前年度の活動報告と決算報告、今年度の運営と予算について説明をしました。続いて今期の役員選出を行い、表1の方々に委員長、幹事として今年度の関東学生会の企画・運営にご尽力いただくこととなりました。さらに、関東学生会広報誌 JSME-dia の編集担当ブロック・担当校を表2のように選出しました。

14時から、2017年度学生会委員長 篠崎有希さん(電通大)より昨年度の関東学生会活動報告を、また、本年度委員長に選ばれた田中将太君(千葉工大)より来年3月に学生員卒業研究発表講演会を開催する千葉工大とキャンパス周辺の紹介をしていただきました。14時30分から、参加者による懇親会が行われ、会員校同士の交流が図られました。懇親会の途中では、参加者による自己紹介が行われ、盛会となりました。

2018年度は関東学生会関連で表3のような事業や行事が予定されています。関東学生会では、学生員の皆様のニーズに沿った行事や企画を行っていきたくと考えています。学生員の皆様の行事への積極的なご参加、ご意見・ご提案をお待ちするとともに、周囲の学生さんにお声かけ頂き、学生員の仲間を多く増やすことができばと思います。

表1 2018年度 関東学生会委員長・幹事一覧

<p>【委員長校】[委員長]田中将太君, [幹事] 高野裕樹君(千葉工大)                  【幹事校】[東京ブロック]尾内成美君(早大), [神奈川ブロック]新井健汰君(明大), [埼玉ブロック]内田智啓君(埼玉大), [千葉ブロック]浅利朋生君(千葉大), [茨城ブロック]坂本和陽君(茨城大), [栃木ブロック]渡部英樹君(宇都宮大), [群馬ブロック]塚本拓野君(群馬大), [山梨ブロック]望月優至君(山梨大)</p>
--

表2 JSME-dia 編集担当ブロック・担当校一覧

<p>2018年10月号 [東京ブロック] 法政大, 2019年2月号 [神奈川ブロック] 東海大,                  2019年6月号 [栃木ブロック] 足利大</p>
---

表3 2018年度 関東学生会関連 行事予定一覧

<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2018年8月 関東学生会交流ツアー(予定), 一泊の交流ツアー(見学会, 交流イベント, 懇親会他)</li> <li>◆2018年秋 関東学生会全体交流会(予定), 企業又は研究機関の見学会, 技術講演会</li> <li>◆2018年秋 シニア会との交流会(予定), 講演会, 討論会, 懇親会</li> <li>◆2019年3月18日(月) 第58回学生員卒業研究発表講演会, 会場: 千葉工業大学</li> </ul>
--



2018年度関東学生会 運営委員・会員校役員

ジェスメディア 第117号(2018年6月号)	
発行:	日本機械学会 関東支部 関東学生会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階 一般社団法人日本機械学会内 電話(03)5360-3510 FAX(03)5360-3508
編集:	関東学生会 千葉ブロック 千葉大学: 小林謙一